

ひめだ高志二ノス

No. 715

'66. 4. 19

一般住宅へ火災報知機の設置義務

「消防法の改正で、すべての住宅へ火災報知機の設置が義務付けられたようですが、どういふものですか」との問い合わせがありました。消防局では、5月の市報と一緒にパンフレットを配布する予定です。その主な内容は、次のとおりです。

既存住宅は5年後までに新築は今年

住宅用火災報知機の設置の義務付けは、新築住宅の場合、今年(66年)6月1日から、既存の住宅は、11年(H23)5月31日までの間に設置が義務付けられたという事です。

建物火災での死者数の約9割が住宅火災によるもので、住宅火災における死亡原因の約7割が逃げ遅れによること、また死者の約6割が65歳以上の高齢者、以上から法改正されたこと。

罰則ナシ、悪質業者に注意を!

住宅用火災報知機は、煙や音で、火災を知らせるものです。今回、義務化となるのは、煙を感知するタイプの設置です。

住宅用火災報知機の設置の義務付けは、市の火災予防条例で定めていますが、罰則規定はありません。

住宅用火災報知機は、消防設備販売店や家電販売店、ガス器具販売店、ホームセンターなどで取り扱っていることと、消防署が住宅用火災報知機を販売することは、いっさいなく、また、業者による点検の義務はありませんが、くれぐれも悪質業者

に、ご注意ください。火災報知機の実物は、消防局3階にも展示してあります。

こんにちは
県会議員の
ふじい健太郎です。
(その144)

この季節ならでは、お参りみ行事の1つに影がさしました。和歌山河口のアサリから麻痺性貝毒が検出され、県は和歌川漁協に潮干狩りの自粛を要請しました。漁協はこれを受けて、しばらくの間、潮干狩り中止の看板をかかげました。

毎年、潮干狩りが始まる前に検査をしています。この毒は二枚貝特有のもので、和歌山での検出は10数年ぶりという事です。今年に入って大

阪、兵庫、徳島など9府県で貝毒が検出され、カキ、アカガイ、アサリなどの産地では出荷の自主規制がとられています。毒素をもつ植物プランクトンを餌にして体内に毒が蓄積するといわれ、貝を捕食する動物にも影響がでています。

県は県内各地での貝毒検査を続けるとしていますが、貝を生計を立てている人々にとっては死活問題にもなっています。必要な対応を求めています。

フリーの人々



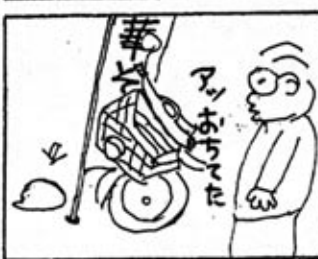
昼食すませて店を出ると



ヘルメットがない!



ヘルメットがいらぬか? ヘルメットがいらぬか?



ヘルメット



ふじい健太郎 県会議員

生産緑地地区指定について

生産緑地地区指定制度は、市街化区域内の農地の指定を受けることで、固定資産税が、市街化調整区域の農地に準じた課税となるため農業経営の安定化が図られ農地の優れた緑地機能及び多目的の保留地機能を保持する目的に、市街化調整区域に指定された農地を保全しやすとするものです。

地区指定の要件は、一回(一体的な地形のまとまり

を有している状態)の農地等の面積が1千㎡以上で、幅員4㎡以上の国道、県道、市道又は県道に接していることなど、4点の項目に合致することが必要です。

また、生産緑地地区に指定されると、30年間は、農地として管理運用(営農)することが義務付けられ、農地以外の利用ができませんなどの条件がつけま

生産緑地地区の指定を受けようとする場合は、指定申請書と添付書類(土地の登記簿、証明書、公図の写し、指定を希望する土地の位置図、現状の写真)と指定同意書などの提出が必要です。

申し出の受付期間は、5月1日(月)～5月31日(水)まで(土・日、祝を除く)受付は、市役所東庁舎4階・都市計画部都市整備課(435・1082)です。

こどもには日本共産党



「思いやり予算」で、米軍の小中学校にはほぼ100%エアコンを設置しているのに、日本の小中学校では6%しかエアコンがない。日本共産党

の小林えみこ議員は17日の参院決算委員会で、米軍に大盤振舞いの逆立ちを正し、「思いやり予算」を削減して子どもに良好な教育環境を整えるよう要求しました。

日本政府が負担する在日米軍の駐留に関わる「思いやり予算」は年間2326億円(06年度)。08、06年度の予算累計では5兆26

9億円にのぼります。当初は負担していなかったが、光熱水費や訓練機材費など、年々日本側の負担が増えました。

全国の小中学校でエアコン未設置の普通教室にすべて設置すると費用は約3730億円になります。小林議員は教育環境整備は政治の仕事と主張

澤地久枝さん

5・13 憲法9条 平和のつどい

2006年5月13日(土) 13:30開演 14:00開演 県民文化会館大ホール

「サブ企画」 合唱発表「どうせしやがやってまた」

参加券500円
会場券200円



澤地久枝

「未来への人となりの絆」

いま、九条への思いを熱く語る

2月定例 県・市政報告会しました

4月13日(木)夜7時から、鳴神の民商會館會議室をお借りして、2月定例県・市議会報告会を行いました。

県議団は、村岡キミ子、藤井健太郎県議、市議団も読者の投稿。

参加者からは、紀の川の治水・利水問題、陸奥省施策などの質問や意見が寄せられました。

短歌

勝田 鉄也

竹押の虎げら水し魂に
桜の花のはらはらと散る
島根より京・大阪を素通りし
この和歌山にし妻は来にけり